



1 牧丘 巨峰の丘ルート

行程 : 約 12km
所要時間 : 約 4時間 (車利用、滞在・昼食時間含む)

巨峰の名産地牧丘は標高700~800mに位置し、雄大な富士山とぶどう畑、甲州切妻型の古民家の点在する風景が広がります。秩父多摩甲斐国立公園の金峰山、国師ヶ岳、西沢渓谷や乙女高原へ至るクリスタルラインの玄関口であり、自然豊かなエリアです。

モデルコース
恵林寺 3 三善醸造 5 フルーツライン 4 カンティナー・ヒロ 10 放光寺

2 塩山・松里 中世の古都ルート

行程 : 約 10km
所要時間 : 約 5時間 (車利用、滞在・昼食時間含む)

武田信玄にゆかりの神社仏閣や遺宝など数多くの文化財が残されており、県内有数の歴史的エリアです。また、秋には「こる柿」と呼ばれる干し柿が農家の軒先に吊るされ、季節の風物詩となっています。

モデルコース
塩山駅 8 塩山洋酒工業 2 恵林寺 3 放光寺 10 駒田ワイナリー 10 甘草園敷

3 山梨 笛吹川・フルーツラインルート

行程 : 約 21km
所要時間 : 約 5時間 (車利用、滞在・昼食時間含む)

甲州財閥の一人で「鉄道王」と呼ばれた実業家 根津嘉一郎の実家である根津記念館、フルーツ公園、ワイナリーや日本酒の蔵元などバラエティに富んだルートです。このエリアのフルーツラインから果実畑、甲府盆地、正面には富士山、右側には南アルプスの山々が一望できます。

モデルコース
山梨市駅 6 塩山洋酒工業 5 清白寺 7 サントネージュワイナリー 10 根津記念館 3 山梨県立博物館 9 笛吹川フルーツ公園

4 勝沼 ぶどうの郷ルート

行程 : 約 12km
所要時間 : 約 7時間 (車利用、滞在・昼食時間含む)

ぶどう栽培の発祥の地であり、国内唯一のワイナリーの集積エリアです。徒歩で数多くのワイナリーを巡ることができ、ワインの歴史に触れながらぶどう畑の散策を楽しめます。

モデルコース
大善寺 4 鉄橋 4 ぶどうの園 3 定光園 2 甲府 3 寺町 3 勝沼ワイナリー 6

5 一宮 京戸川扇状地ルート

行程 : 約 20km
所要時間 : 約 7時間 (車利用、滞在・昼食時間含む)

扇状地の中腹を移動しながら、ももの花やぶどう畑の広がる風景を楽しめるルートです。扇状地には縄文時代の遺跡や古墳が点在し、博物館では中部高地の代表的な遺跡として数えられる釈迦堂遺跡から出土した数多くの土偶や高い芸術性を持った土器などを見ることが出来ます。

モデルコース
一宮 4 ルミエール 7 釈迦堂遺跡 4 アルプスワイン 1 新巻 1 北野呂醸造 4 日川中央 4

6 石和・御坂・八代 桃源郷ルート

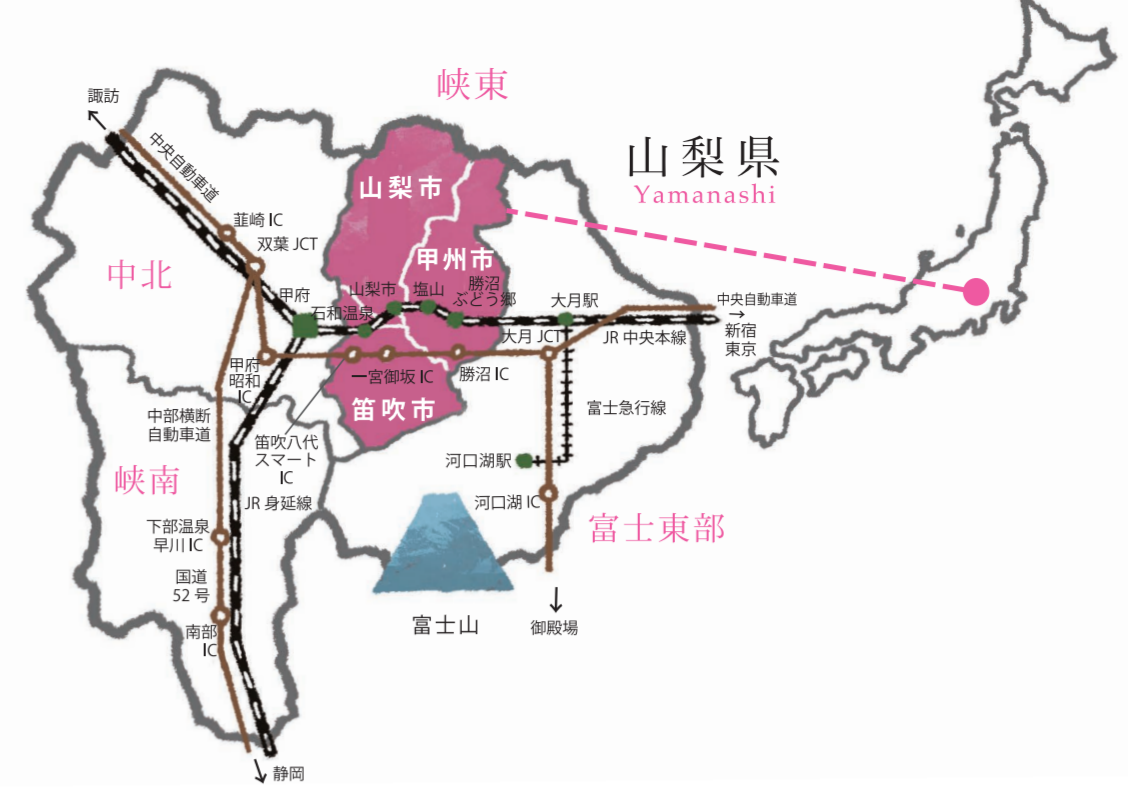
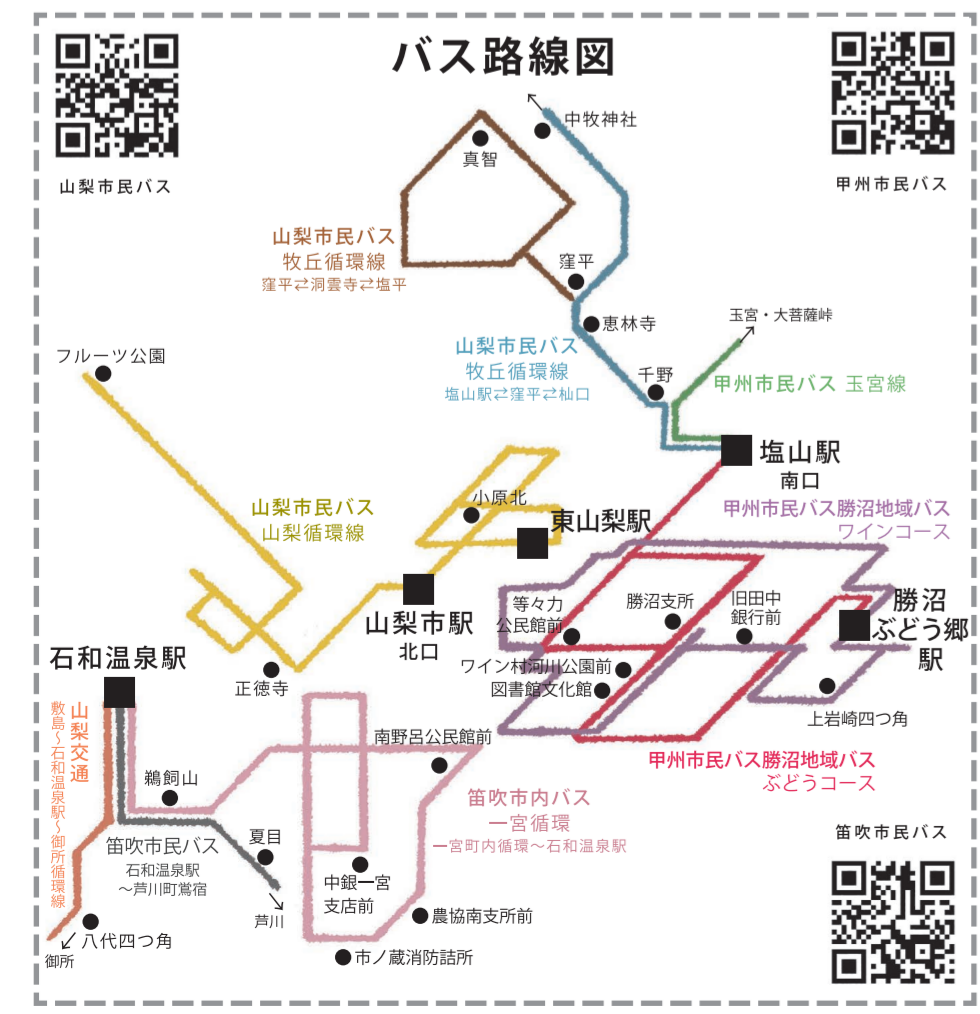
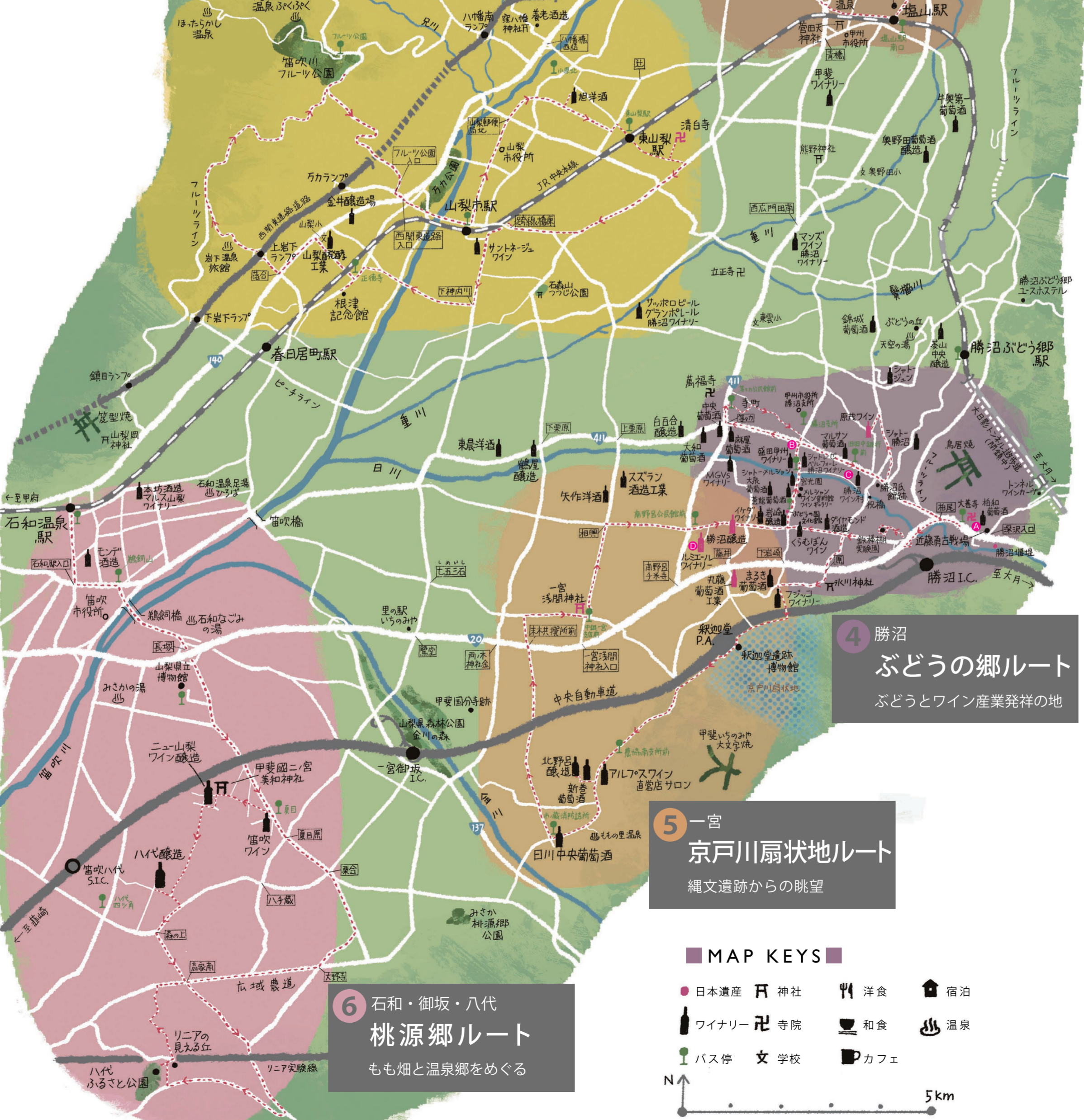
行程 : 約 20km
所要時間 : 約 7時間 (車利用、滞在・昼食時間含む)

春には日本一の作付面積を誇るもも花で、辺りはピンク色の「桃源郷」となります。南アルプスの山々を望む絶景の中のワイナリー巡り、温泉、グルメスポットなど見所がたくさんあるエリアです。

モデルコース
山梨県立博物館 4 放光寺 2 美和神社 1 ニュースト山梨ワイナリー 1 八代ふるさと公園 7 八代ふるさと公園 19 石和温泉

3 山梨 笛吹川・フルーツラインルート

フルーツラインからの絶景



S T O R Y

ストーリー

ぶどう栽培の発祥

甲州市勝沼は、ぶどう栽培が古くから行われ、ぶどうにまつわる伝承の地となっています。栽培歴は1300~800年と推定されています。古利・大善寺を開創した僧行基に由来する説、勝沼の南宮揚解由により発見されたとする説などが伝えられています。



大善寺 ● 本堂は鎌倉時代に竣工した山梨県内最古の寺院建築で、木造薬師如来像が安置されています。行基はぶどう栽培を伝えたことから「ぶどう寺」とも呼ばれ、今も寺域でぶどうを栽培しています。

甲州 ● 生食・醸造兼用種。平成22年OIV(ワインの国際的審査機関)が認定するぶどう品種として登録され、ワイン醸造用の品種として世界的に認められました。

勝沼富町のぶどう (現在する最古の「甲州」) ● 日本固有のぶどう品種である「甲州」。勝沼富町にある木は樹齢130年を数え「甲州」と名付けられた銘木です。

先人の知恵と工夫によるぶどう畑の形成

江戸初期に考案された竹で作った棚にぶどうを架ける棚栽培は、通風に優れたぶどうの生育に適しており、これが日本におけるぶどう栽培の原型になりました。明治中期には竹が針金に代わると、地形を選ばず棚が作れるようになり、平地から山の斜面までぶどう畑が広がっていきました。



甲州式棚栽培 ● 竹を使った棚栽培により、江戸中期には甲州は日本一のぶどうの生産量を誇るようになり、後に甲州式と呼ばれるようになりました。また、明治31年に丈夫な針金を導入することにより、平地から急斜面までぶどうを栽培できるようになりました。

日川治水施設 ● 日川の流路を固定するために明治44年から昭和6年にかけて建設された土砂流出防止の74基の治水施設。周囲は水はけの良い土地に変わり、ぶどう畑として利用されています。

時代の変化とともに拡大したぶどう畑

明治時代の関東東地域では「甲州切妻型」と呼ばれる光を取り入れるために棟の中央を持ち上げた「突き上げ屋根」を設けた家屋で、養蚕が盛んに行われていました。昭和30年代中頃から化学繊維の普及などにより養蚕業が衰退し始めると、養蚕農家は収益性の高いぶどうなどの果樹栽培へと転換しました。



甲州切妻型民家 ● 近代の養蚕農家の特徴を持つ突き上げ屋根を持つ住宅。現在も茅葺が維持されています。

扇状地に広がるぶどう畑 ● 山岳地帯から流れ出した複数の河川によって作られた複合扇状地。中でも勝沼扇状地は東と南から流れ出した土砂が堆積した扇状地が所り重なり、地形は西南・南面に傾斜した良い土地が一面に広がっています。

ぶどう畑から始まるワイン文化

明治時代になり、ワインづくりが政府の殖産興業政策の一環になり、山梨県では明治10年に全国に先駆けて葡萄酒醸造場が開かれました。また、勝沼では日本初の民営ワイン醸造会社が設立され、本格的なワイン醸造に取り組みました。そして、試行錯誤を繰り返しながらワイン醸造と普及に情熱を注ぎ続けた人々によって、この地域では「葡萄酒」文化が形成され、定着していきました。



甲州ワイン ● 日本固有種である「甲州」を原料としたワインの総称。生産者たちの努力により進化を続け、国内外で高く評価されています。

伝統的ワイナリー ● 日本のワイン産業の黎明期からワイン醸造を行っていたワイナリーや養蚕農家の伝統を持つ和風建築ワイナリーなどでは、今もワインが造られています。

明治期のワイン地下発酵槽 ● 明治34年に造られた石造りの発酵槽。ルミエールワイナリーでは現在も使用され、ワインが作られています。



日本遺産 葡萄畑が織りなす風景

甲府盆地の東部は平坦地から傾斜地までぶどう畑が広がり、初夏には深碧の絨線、秋には紅葉の濃淡が日に映え、季節ごとに様々な風景を魅せてくれます。

奈良時代から始まったと伝えられるぶどう栽培は、先人たちの知恵と工夫により、かつて水田や桑畑だった土地を一面のぶどう畑に変え、またそのぶどう畑に育まれたワインは日常のお酒として地域に根付きました。今も歴史を語る技術や建物は受け継がれ、ぶどう畑の風景の中に溶け込んでいます。



日本遺産とは？

地域の歴史的魅力や特徴を通じて、わが国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定し、有形・無形のさまざまな文化財の魅力を国内外へ発信する取り組み。「葡萄畑が織りなす風景-山梨県東地域-」は平成30年5月に認定。



源流の恵みが美しい自然景観を育むまち



山梨市は、秩父多摩甲斐国立公園にそびえる雄大な山々に抱かれ、甲斐国岳を源とする笛吹川に広がる穏やかなまちです。



桃源郷、温泉郷としても知られる恵み豊かなまち



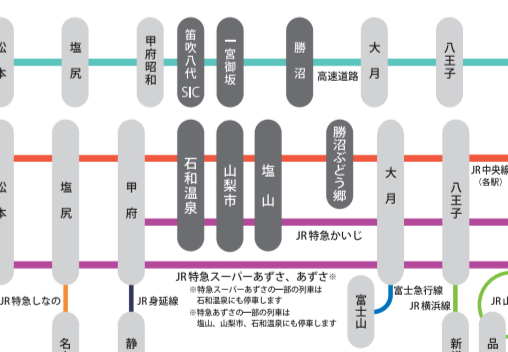
笛吹市は、日本一の栽培面積を誇るもの生産地。市内に30万本あるもの花が一斉に咲き誇る様子はまさに桃源郷と花びらに輝く光景が広がります。また、石和温泉郷は県内随一の温泉郷です。



武田家ゆかりの深い歴史とワイナリーのまち



甲州市は、広大な山岳地帯や深谷、人々の営みの中で培われた果樹園や農村地帯、歴史に彩られた建造物や文化遺産などが美しく調和した魅力あふれるまちです。



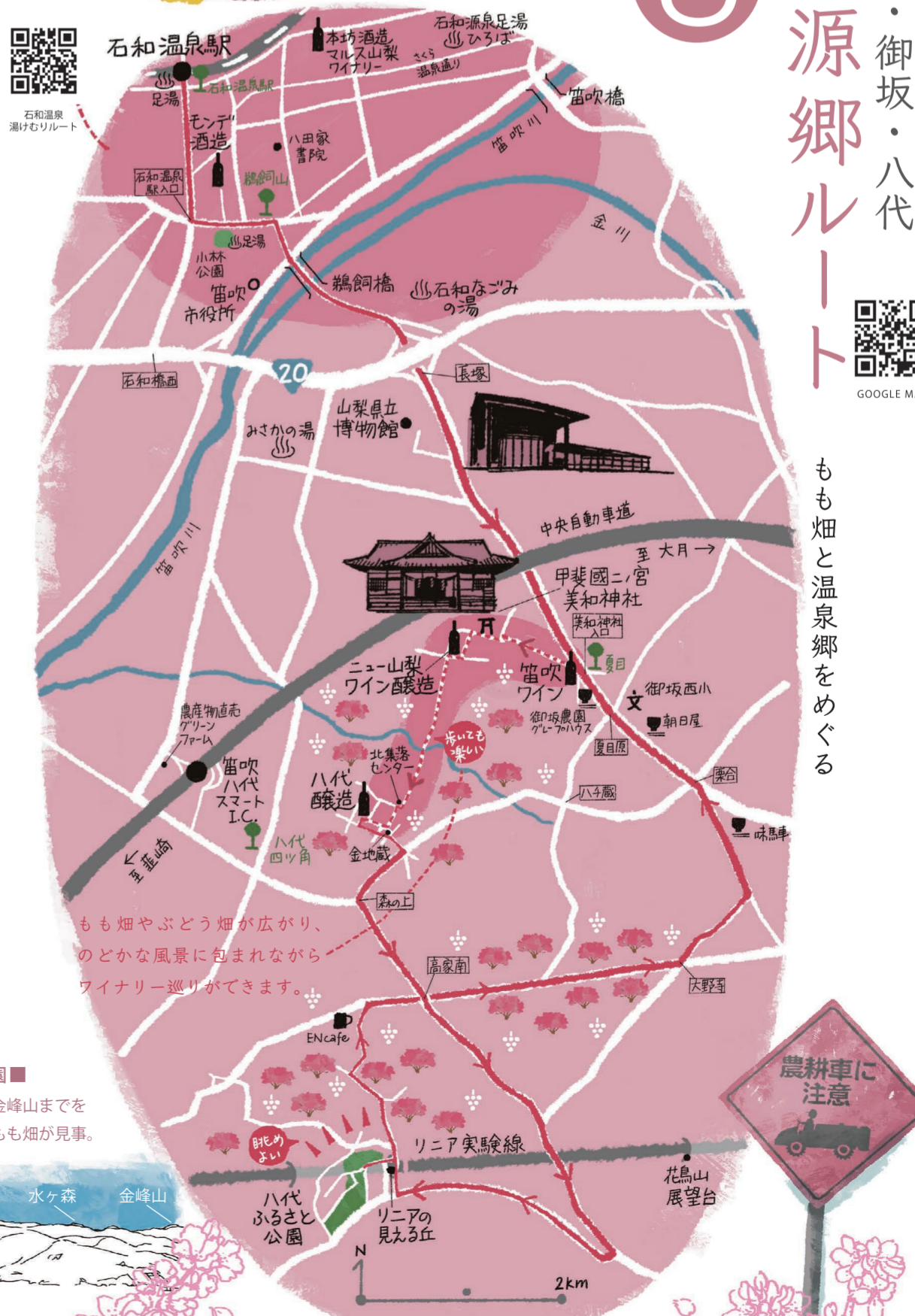
ワイナリーを回遊するための「やまなしワインタクシー」が運行しています。



〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
山梨県観光文化情報部観光資源課内
TEL 055-223-1573
https://winersort.jp/

令和2年度文化芸術振興費補助金（地域文化財活用推進事業）

6 石和・御坂・八代 桃源郷ルート

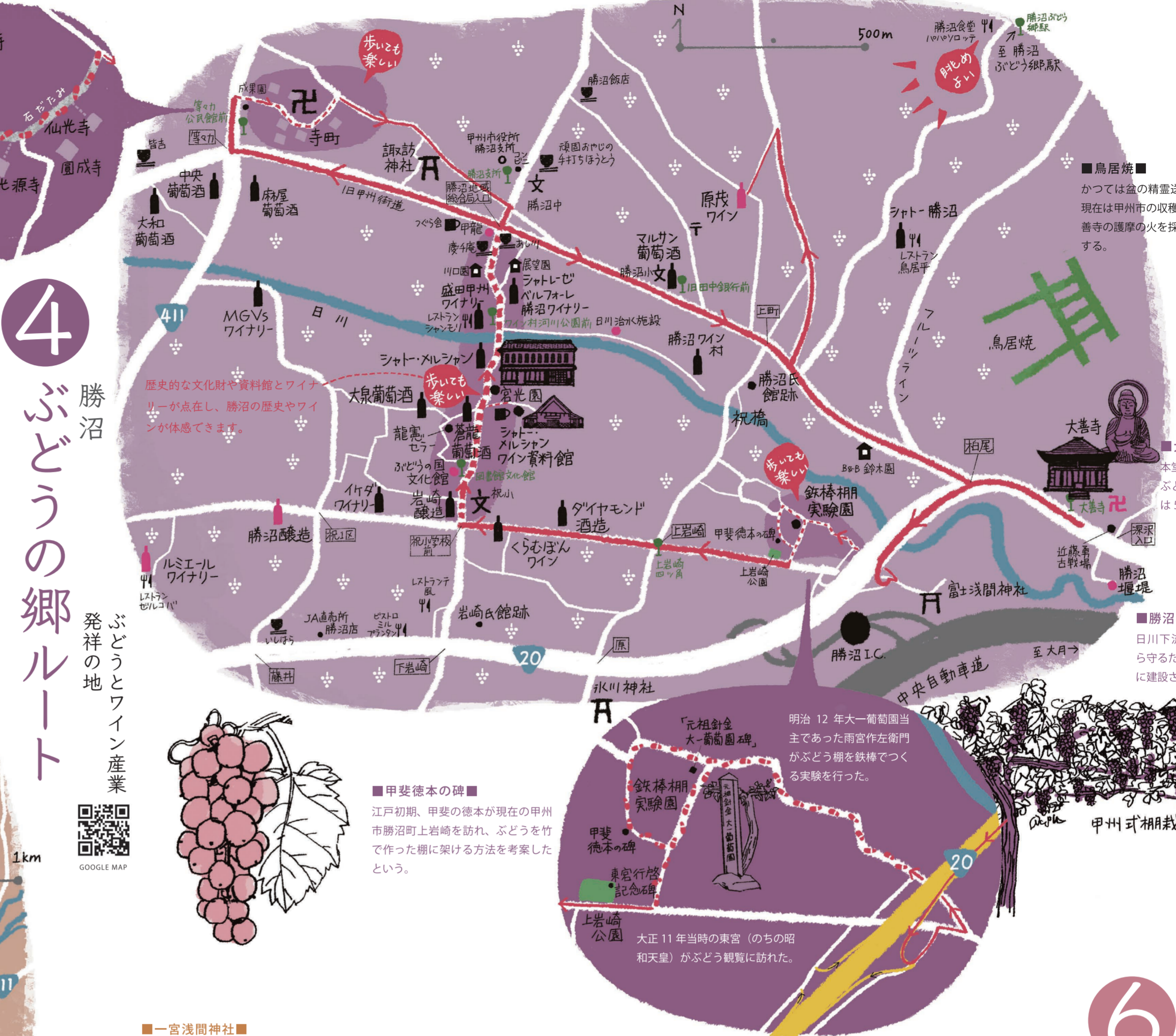


もも畑と温泉郷をめぐる

もも畑やぶどう畑が広がり、のどかな風景に包まれながらワイナリー巡りができます。

■八代ふるさと公園■
南アルプス〜八ヶ岳〜金峰山までを見渡せる。春には桜、もも畑が見事。

4 勝沼 ぶどうの郷ルート



ぶどうとワイン産業 発祥の地



■甲斐徳本の碑■
江戸初期、甲斐の徳本が現在の甲州市勝沼町上岩崎を訪れ、ぶどうを竹で作った棚に架ける方法を考案したという。

■一宮浅間神社■
祭神の木花咲耶麻命が酒造の神であることから、県内ワイナリーが農作業が始まる3月半ばに一升瓶ワインを奉納する。

5 一宮 京戸川扇状地ルート



縄文遺跡からの眺望

4つのワイナリーが集積しており、甲府盆地や南アルプスの眺望の良さが魅力。4月上旬〜中旬には眼下に桃源郷が広がります。

2 塩山・松里 中世の古都

武田家由来の古刹をめぐる



■清白寺■
ぶどう畑の中に寺社が浮かぶような風景。室町時代に建立された仏願は唐様（禅宗様）建築の代表的遺構で、国宝に指定されている。

フルーツラインからの絶景



1 牧丘 巨峰の丘ルート

ぶどう畑と切妻民家



■越屋根付き民家■
甲州切妻型民家のうち近代の養蚕農家の特徴を持つ越屋根付きの民家。一面のぶどう畑に囲まれており、養蚕からぶどう栽培の転換を示す建造物。

3 山梨 笛吹川・フルーツラインルート



■巨峰の丘■
富士山を望む牧丘は巨峰の名産地。春夏は緑に広がるぶどう畑は、秋は品種によって様々な色に紅葉し、パッチワーク状に色とりどりに輝く。

■越屋根付き民家■
甲州切妻型民家のうち近代の養蚕農家の特徴を持つ越屋根付きの民家。一面のぶどう畑に囲まれており、養蚕からぶどう栽培の転換を示す建造物。